

(公財) 日本ソフトボール協会における指導者の資格と役割

ア、公認ソフトボール準指導員[(公財) 日本ソフトボール協会認定]

地域のソフトボールクラブ等において、ソフトボールに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、ソフトボールの専門的知識や発育発達の基礎理論を活かし、安全で楽しいソフトボールの指導にあたる方のための資格です。また、公認ソフトボール指導員を目指す方のための基礎資格（専門科目）です。

イ、公認ソフトボール指導員[(公財) 日本体育協会認定]

地域ソフトボールクラブ等において、ソフトボール競技の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などを指導対象に合わせた指導にあたる方のための資格です。

特に発達発育期の子どもたちに対しては、総合的な動きづくりを主眼に置き、遊びの要素を取り入れた指導ができるようにカリキュラムを構成していることから、スポーツ少年団などで小学校期の子どもたちのソフトボール指導にあたる方にぜひ取得していただきたい資格です。

ウ、公認ソフトボール上級指導員[(公財) 日本体育協会認定]

地域ソフトボールクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる方のための資格です。また、地域スポーツクラブなどが実施するソフトボール教室の事業計画立案などを学ぶことができるので、クラブ内指導者の中心的役割を担う方、市町村エリアにおいてソフトボール競技の指導にあたる方、指導員を養成する立場にある方にぜひ取得していただきたい資格です。

エ、公認ソフトボールコーチ[(公財) 日本体育協会認定]

各都道府県ソフトボール協会レベルにおける競技者育成を担当する方や日本リーグの監督・コーチの方の資格です。

各ソフトボールのトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる方や巡回指導に協力する方、国民体育大会の監督にあたる方など高いレベルの実技指導をする方にはぜひ取得していただきたい資格です。

オ、公認ソフトボール上級コーチ[(公財) 日本体育協会認定]

国際大会等の各競技会における監督・コーチとして、競技者が最高の能力を発揮できるよう、強化スタッフとして質の高い指導にあたるなど、(公財) 日本ソフトボール協会（以下本協会）におけるナショナルレベルのトップコーチのための資格です。

本協会のナショナルレベルのトレーニング拠点などにおいて、各年代で選抜された競技者の育成強化や競技力向上策の開発に参画する方などにぜひ取得していただきたい資格です。